

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10585003				
授業名	社会貢献と地域活動 D	形態	講義	単位	2
担当教員	山田 宜廣				
開講学期	2017年度 後学期	曜日・時限	火曜3限		
授業目的	<p>複雑な現代社会にとって、公助・共助・互助・自助による協働社会は人類共存のシステムとして重要な意義をもつものである。</p> <p>協働社会にあって、社会貢献は、公助・共助・互助・自助が機能するうえで欠かせない概念であり、あらゆる機関・団体・家族・個人にとって重要な概念である。</p> <p>公助である国・地方公共団体は、国民・都道府県民・市区町村民のために貢献することが機関としての役割である。これとともに共助としての法人も社会貢献は、地域社会の存立に欠かせない。互助である地域社会の支え合い、自助である家族や個人の地域社会に対する社会貢献は、福祉社会や地域福祉に欠かせない。</p> <p>本授業では、公助・共助・互助・自助が地域社会につくりだすさまざまな社会貢献について理解を深めることを目的に学習するものである。</p>				
授業内容	<p>法人(営利、非営利)による社会貢献、寄付、地域社会と地域活動を学習する。</p> <p>あわせて具体的な貢献を学習する。 地球環境への貢献、地域社会への貢献、防災、減災への貢献、孤独・孤立防止のための貢献、介護保険制度による貢献、成年後見制度や日常生活自立支援事業による貢献、家族・子どもへの貢献、地域福祉への貢献、国際交流や国際協力への貢献、ngoと企業、ngoと行政による協働が授業内容となる。</p>				
到達目標	<p>授業目的をふまえ、授業内容を理解することが到達目標となる。到達目標の理解度については、レポートとプレゼンテーションおよび原稿の提出の内容により判断する。</p>				
ディプロマポリシーとの関連性	<p>企業の社会貢献、企業、特定非営利活動法人を除く各種法人の社会貢献、特定非営利活動法人の社会貢献のレポート作成、プレゼンテーションを通して、広く地域社会や地域貢献が体得でき、社会や法人について深く理解する手掛かりとなる。視野が広がり、社会や就職に覚醒するきっかけとなる。</p>				
授業形態	<p>講義形式、ときに課題に対してどう貢献・寄与するかについて議論を展開する。また随時レポートの提出により理解度の深まりを確認する。</p>				
事前・事後学習の所要時間	<p>通常の授業では、1時間、3回のレポート作成には、それぞれ3時間程度の学習が必要である。</p>				
テキスト	<p>テキストは特定しない</p>				
評価方法	<p>授業参加態度、プレゼンテーション及びレポート提出とする。これらの課題に対する対応や提出は絶対条件である。やむを得ない事情で欠席の場合でも必ず発表および提出していただく。</p>				
評価基準	<p>評価方法で示した内容を満たしたものは c 以上で評価する。 c 以上は、授業参加態度20点、レポート内容50点、プレゼンテーション30点、原稿の内容により行う。</p>				
試験・レポート等のフィードバック	<p>企業の課題、項目の整理、企業、特定非営利法人を除く各種法人の課題の整理、項目、特定非営利活動法人の課題、項目の整理と3回のレポート作成および壇上でのプレゼンテーションへのインタビューやコメントを行う。</p>				
注意事項及び履修条件	<p>授業に臨む態度が重要、私語、いねわり厳禁、積極的に発言することを評価する</p>				
S : 100~90、A : 89~80、B : 79~70、C : 69~60、D : 60未満					
第1回					
事前学習	<p>法人についてどういうものであるか自分なりに調べておく</p>				
授業内容	<p>第1回目は、法人(法律によって「人」とされているもの(こと)制度を理解する。日本において法人は、法律の規定によって成立する。法人の設立は、国家による監督の度合いによって採用の仕方に違いはあるが、なんらかのかたちで認められなければならない。ここでは、社団・財団・営利・非営利という分類、一般社団、一般財団、学校、宗教、医療、社会福祉法人、特定非営利活動法人、協同組合など法人の種類を学び、これらが基盤となっている地域社会における社会貢献について理解を深める。</p>				
事後学習	<p>授業内容(法人理解、法人分類、法人種類)を復習する。</p>				
参考文献	<p>貢献-何かのために力をつくして寄与すること(岩波国語辞典)。寄与-国家や社会に対して役に立つことを行うこと(広辞苑)。とくに地域福祉の発展に寄与するということに視点をあてる。</p>				
第2回					
事前学習	<p>寄付白書の該当部分に目を通しておく。</p>				
授業内容	<p>第2回は、寄付(公の事業のため、金銭や品物をおくること)について考える。とくに震災寄付、寄付の動向、高齢者寄付、ボランティア活動の動向について寄付白書2015を参考文献としてこの中の関係箇所を説明し、寄付の実態を理解する。</p>				

	到達目標は、震災寄付、寄付の動向、高齢者寄付、ボランティア活動の動向を理解することである。
事後学習	授業内容(震災寄付、寄付の動向、高齢者寄付、ボランティア活動の動向)を復習する。
参考文献	寄付白書(日本経団連出版)
第3回	
事前学習	社会貢献活動実態調査結果(日本経済団体連合会)の概要(社会貢献活動支出、社会貢献活動に関する制度・意識、社会貢献活動事例)をみておく。
授業内容	第3回は、企業がどのような社会貢献をおこなっているか具体的な実態を把握する。実態把握にあたり、社会貢献活動実態調査結果(日本経済団体連合会)の概要(社会貢献活動支出、社会貢献活動に関する制度・意識、社会貢献活動事例)について説明し理解を求める。 到達目標は、企業の社会貢献活動を理解することである。
事後学習	授業内容(企業の社会貢献事例、社会貢献活動)を復習する。
参考文献	テキストブックNPO非営利組織の制度・活動・マネジメント
第4回	
事前学習	地域の社会学の該当部分に目を通しておく。
授業内容	第4回は、地域社会と地域活動について理解を深める。 地域社会とは何か、地域を枠づける制度と組織、また地域社会の中でおこなわれている内容について理解を深める。 具体的内容とは、子育てと地域社会、学校と地域、自営業者たちと地域社会、高齢化と地域社会、エスニック集団と地域社会などである。 到達目標は、地域社会および地域社会での具体的内容を理解すること。
事後学習	授業内容(地域社会、地域社会の具体的内容)を復習する。
参考文献	地域の社会学(有斐閣アルマ)
第5回	
事前学習	第1回から第4回までの授業内容に目を通す。
授業内容	第5回は、授業内試験とする。第1回から第4回までの学習をふまえ、企業の社会貢献についてレポート提出し、プレゼンテーション及びコメントを行う。 社会貢献については、活動分野を特定し、企業は、その分野でどのような活動を行うことが社会貢献になるのか、考えられる事項を整理する。ここでの整理は、箇条書きでの整理とし、書いたものにもとづいてプレゼンテーションを行う。その際、書き出したものは必ずみせるようにする。a4 2枚とする。
事後学習	提出した内容を書き留めておく。
参考文献	提出用紙
第6回	
事前学習	第1回から第5回までの授業内容に目を通す
授業内容	第6回は、授業内試験とし、第5回と同様プレゼンテーション授業とする。
事後学習	各人がレポート発表した内容をまとめ復習する。
参考文献	提出用紙
第7回	
事前学習	第1回から第6回までの授業内容に目を通す
授業内容	第7回は、授業内試験とし、第6回と同様プレゼンテーション授業とする。
事後学習	各人が発表したレポート内容をまとめ復習する。
参考文献	提出用紙
第8回	
事前学習	高齢化社会、介護保険制度について事前に調べておく。
授業内容	第8回は、介護保険制度が作りだした地域社会に着目し、在宅福祉サービスが果たす役割が地域社会に重要な貢献を果たしていることについて学習を深める。とくに近年、地域密着型サービスの充実や介護型有料老人ホームの動向などあらたな展開がみられ、地域社会の貢献に新たな様相がみられることについて学習を深める。 到達目標は、介護保険制度の概要を理解する。また在宅福祉サービス、地域密着型サービスや介護付き有料老人ホームの動向と社会貢献と地域活動の関係を理解する。
事後学習	授業内容(介護保険制度の概要、介護サービスと地域社会)を復習する。
参考文献	

第9回	
事前学習	少子化社会を事前に調べておく。
授業内容	第9回は子ども、家庭をめぐる少子化社会を取り上げる。児童健全育成、社会的養護などの現状や新たな法律動向を学ぶ。
事後学習	授業内容(少子化社会、児童健全育成、社会的養護)を復習する。
参考文献	
第10回	
事前学習	貧困、生活保護制度について事前に調べておく。
授業内容	第10回は、絶対的貧困、相対的貧困、ひとり親家庭や子どもの貧困などにどう貢献するか健康面や栄養面から考える。 到達目標は、家族、子どもをめぐる状況の概要を理解する。またひとり親家庭、子どもの貧困の概要を理解する。
事後学習	授業内容(貧困、生活保護制度)を復習する。
参考文献	老人漂流社会
第11回	
事前学習	第9回～第11回の資料を事前に調べておく
授業内容	第11回は、授業内試験とし、少子・高齢化の特定課題に対する法人(営利、特定非営利活動除く)の社会貢献をプレゼンテーション、インタビューやコメントを行う。
事後学習	各人が発表したレポート内容をまとめ復習する。
参考文献	
第12回	
事前学習	第9回から第11回までの授業内容に目を通す
授業内容	第12回は、授業内試験とし、第11回同様の非営利法人の社会貢献プレゼンテーション、インタビュー、コメントとする。
事後学習	自分が提出したレポートを振り返る。
参考文献	提出用紙
第13回	
事前学習	第8回から第11回までの授業内容に目を通す。
授業内容	第13回は、授業内試験とし、第11回同様非営利の社会貢献活動プレゼンテーション、インタビュー、コメントとする。
事後学習	各人から聞き取ったレポート内容をまとめ復習する。
参考文献	提出用紙
第14回	
事前学習	特定非営利活動法人について事前に調べておく
授業内容	特定非営利活動法人の社会貢献についてレポート提出する。
事後学習	提出した特定非営利活動法人について復習する。
参考文献	提出用紙
第15回	
事前学習	営利、非営利の社会貢献活動プレゼンテーションを振り返る
授業内容	第15回は、今までの授業を総括する。また成績についてコメントする
事後学習	後期授業をふりかえる
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-(1)> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-(2)> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(3)> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に</p>
-----------	---

付けている。

<DP1- (4) >

人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。